

ミシマサイコってなに？

ミシマサイコとは薬用植物であり、その根が柴胡という生薬として使われています。解熱や鎮痛などの作用があり、様々な漢方に配合されています。



どんなビジネスモデル？

ミシマサイコ生産者の多くは、葉タバコやお茶、野菜などを複合経営しています。売上は着実に伸びてきており、また農福連携などを通じて、労働時間の削減にも取り組んでいます。

10a当たりの作業別労働時間(例)



■ 耕種～播種

栽培前年の10月～12月に除草、土壌改良を行い、播種に備えます。

■ 栽培

販売先の大手漢方薬メーカーが指定する農薬以外は使用できません。なお、土壌乾燥防止や病虫害防除なども含みます。

■ 摘芯～地上部刈取り

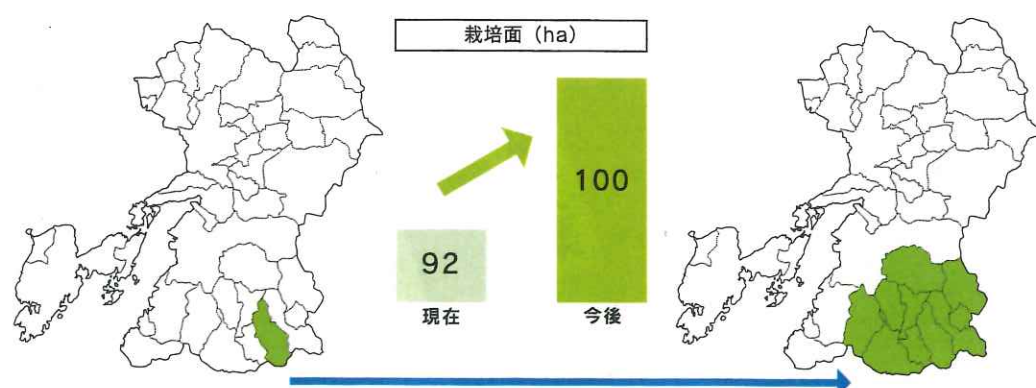
6月～7月頃に摘芯、7月～10月にかけて除草を数回行います。

■ 脱穀～出荷

脱穀から出荷までの間に、根の掘り切り、洗浄、根切り、調製、乾燥等の作業を行います。

人吉・球磨地域への経済波及効果

ミシマサイコの栽培農家が増えることで地域全体の経済への効果も高まります。



市場拡大

経済波及効果

494億円/年

※公益財団法人地方経済総合研究所の推計による

栽培の流れとポイント



【摘芯】

あえて芽を摘むことで、生薬として使う根をしっかりと育てます。

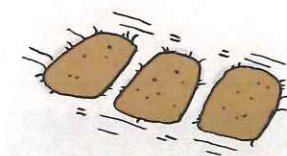
【収穫～出荷】

安全で安定した品質の漢方製剤を出荷するために、ルールを徹底しています。



2月頃に播種を行い、1年目は種子のみの収穫、2年目で種子と根の収穫を行います。初めての出荷までには様々な作業がありますが、くま薬草生産組合のアドバイスを受けながら、新規就農者の方でも安心して取組めます。

初めてでも安心のサポート体制！



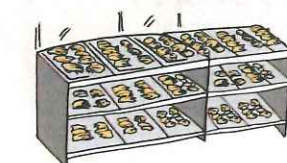
初めて栽培する方にとって、農薬散布の判断や摘芯に適したタイミングの判断は難しいですが、あさぎり薬草合同会社や栽培経験者がアドバイスを行います。



地上部刈り取りには、その後の根の掘り取りや洗浄等の作業を進めやすくするためのコツがあります。くま薬草生産組合でしっかりとサポートしていきます。



手洗いでは土を十分に落とせないなので、あさぎり薬草合同会社の洗浄機を利用することができます。また、同社は上手に乾燥させるためのアドバイスも行っています。



あさぎり薬草合同会社を取りまとめて、販売先の大手漢方薬メーカーに全量出荷します。

